

消 息

第三十回 医学史研究会 合同総会
日本医学学会関西支部(一九九一年秋季)

と き 一九九一年十一月十六日(土) 午後一時~午後五時半

一九九一年十一月十七日(日) 午前九時半~午後五時

ところ 大阪大学医学部附属病院8階B講堂

千五五三 大阪市福島区福島一―一五〇

プログラム

第一日

要望課題・現代史における看護婦問題

一 現代史における看護婦問題・序論

.....長門谷洋治(豊中市)

二 ナイチンゲール誓詞の問題点:石田 純郎(新見女子短大)

三 看護婦教育―地域看護の提唱者・小林富美枝の業績から.....名原 寿子(看護史研究会)

四 現代看護婦問題と教育.....張 知夫(大阪府立大)

五 沖縄の看護婦問題.....照屋 寛善(沖縄・老保・園)

六 地方一病院の看護婦不足の現状

.....上坂 良子(看護史研究会)

七 中小病院における看護婦問題:小松 良夫(寝屋川市)

八 技術の進歩と看護.....上林 茂暢(東京・病院)

九 准看護婦問題の本質を考える:中島 幸江(東海准看護婦のつどい代表)

二〇 医療における看護.....中川 米造(長岡京市)

二 看護教育における医学概論のあり方

.....村岡 潔(阪大・医・環境医学)

三 各政党の看護婦問題に関する政策

.....西尾 勉(大阪医労連)

第二日

一般演題

一 麻酔死論・脳死論―英国の例―

.....栗本 宗治(西宮市)

二 熊野の養蜂.....宗田 一(京都市)

三 『口齒類要』について.....杉本 茂春(大阪市)

四 中井履軒『顕微鏡記』の諸本について

.....有坂 道子(京都府大学生)

五 世良好太とその時代.....江川 義雄(廿日市市)

六 中国の診に見られる予防医学について

.....山本 徳子(横浜市大)

七 ロシア帝国軍医・関余作(関寛齋三男)の

ロシア通信……………中山 沃(西宮市)
大阪で印行の『本朝医家著述目録』

九 Hirschberg 来日の京都見学「今昔」
寺畑 喜朔(金沢医大)
松田 武(阪大・医)

一〇 ホフチェについて—近代オランダの小庭をもつ
奥沢 康正(京都市)

二 晩年の軍医森鷗外—史伝発想の内実 第1回
臨時脚氣病調査会の停滞と克服—
坂本 秀次(元山梨学院大)

三 総力体制化の医学教育……………神谷 昭典(瀬戸市)
三 薬学教育への医学の協力—阪大医学部に薬学科
が創設され、多数の医学教授は薬学教育へ出講した—
……………中室 嘉祐(東大阪市)

四 能勢(大阪府)医師会創立者・森本玄良
(一八五五—一九二三)……………石原 理年(京都市大)

五 乳児死亡の自然的・政治的観察
……………丸山 博(箕面市)
日本医史学会関西支部例会
—西宮・白鹿記念酒造博物館—

共催 医学切手友の会関西支部
とき 一九九二(平成四)年一月二十六日(日) 正午より午後

五時まで、講演は午後一時〜三時
とる(財)白鹿記念酒造博物館

見学 新春・福の神展、その他博物館内見学随時
講演 あいさつ 南野 武衛(白鹿記念酒造博物館館長)

一 西宮の医師田中信謹とその著書
『広西両宮記』 堀内 冷(三菱神戸病院)
二 医の年賀切手 石原 理年(京都市大)

例会記録

九月例会 平成三年九月二十八日(土)

一 絵島・生島事件と御蔵島 順天堂大学医学部九号館一番教室
一 『金瓶梅』と道教、民俗、風習 新藤 恵久
一 吉元 昭治

十月例会 平成三年十月二十六日(土)

一 ビデオ鑑賞「順天堂」 順天堂大学医学部九号館一番教室
一 一 仏典とスシュルタ本集にみられる酒の評価 東京文映制作
一 ビデオ鑑賞「種痘の始祖緒方春朔」 甘木朝倉医師会制作

十一月例会 平成三年十一月十六日(土)

一 膏盲の病の再検討 順天堂大学医学部九号館三番教室
一 ブールハーヴェ博物館図録から 遠藤 次郎・中村 輝子
一 中西 淳朗